

2018年11月26日 日本テレビ 定例記者会見

《 要旨 》

1. 視聴率動向と編成戦略

今年47週の視聴率は年間34回目、年度23回目の三冠王を獲得した。全体としてはゴールデン、プライムをさらに強化し、午前と午後の帯番組を中心に立て直していくことが一貫した課題だ。

秋のドラマについては特に日曜ドラマ「今日から俺は！！」が非常に良い傾向。視聴率は11月25日の放送が初めて2桁を獲得。SNS、タイムシフト、配信等で話題を集めていたが、リアルタイムの視聴率にもつながり、手ごたえを感じている。

水曜ドラマ「獣になれない私たち」、土曜ドラマ「ドロ刑 - 警視庁捜査三課 -」も作品としての評価は頂いているので、視聴率というリアルタイムの結果に結びつけられるよう努めたい。

「ZIP!」内で12月より連続ドラマ「生田家の朝」を放送する。様々なチャレンジ、話題づくりをしていきたい。

2. 営業状況

・ 放送収入

上半期のタイムセールスは、東京エリア全体として前年を少し上回る形で推移した。上半期のエリアのスポット出稿量は前年の水準には至らず、厳しい状況が続いていた。

10月のスポットは、当社は前年を上回ったものの、エリア全体では引き続き前年割れとなった。

・ 放送外収入

有村架純さんが出演する、地方ローカル線を舞台にした映画「かぞくいろ」が11月30日公開。人気シリーズ「RAILWAYS」が初めて女性運転士の物語を描く感動作となっている。

開局65年記念舞台の「魔界転生」は九州公演が終了し、東京公演も11月27日で終了。12月は大阪で公演するが、大変好評で、すでに完売に近い状態だ。

3. その他

・ 4 K放送開始日について

これまでBS日テレの4K放送開始日は2019年12月1日としてきたが、これを2019年9月1日に3か月前倒して放送することとした。

9月20日開幕のラグビーワールドカップが日本で行われるが、その国際映像が4Kで制作されることが決定したことを受け、BS日テレで4K放送への準備を検討してきたところ、前倒しが可能と確認でき、9月1日と決定したものだ。

番組編成等については、BS日テレで今後さらに検討していく。

・「世界の果てまで イッテQ!」について

社内では過去に放送した祭り企画について調査を進めている。BPOからも報告を求められているので、BPOの次の委員会までには、ご議論いただけるような形で報告する予定でいる。皆様からの様々なご指摘については真摯に受け止め、番組作りに生かしていきたい。

大久保好男 代表取締役 社長執行役員

廣瀬健一 取締役執行役員 日テレラボ室長

福田博之 取締役執行役員 編成局長

(了)